

官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス  
前二項ノ規定ハ文官任用ノ資格ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ゲズ

### 失業對策委員會官制の公布

現下ノ失業問題に對する綜合的對策を急速に確立し、且つ之を實行するため、之が審議機關として政府は失業對策委員會設置を準備中の所、其の成案を得たので昭和二十年十二月三日勅令第六百九十七號を以て其の官制を左の如く公布した。

#### 失業對策委員會官制(昭和二十年十二月三日勅令第六百九十七號)

第一條 失業對策委員會ハ中央失業對策委員會及都道府縣失業對策委員會トス

中央失業對策委員會ハ厚生大臣、都道府縣失業對策委員會ハ地方長官(東京都ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ノ監督ニ屬ス

中央失業對策委員會ハ厚生大臣、都道府縣失業對策委員會ハ地方長官ノ諮問ニ應ジ失業對策ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

失業對策委員會ハ前項ノ外關係行政廳ノ諮問ニ應ジ失業對策ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス  
失業對策委員會ハ失業對策ニ關スル重要事項ニ付關係行政廳ニ建議スルコトヲ得

第二條 中央失業對策委員會ハ厚生省ニ之ヲ置ク

都道府縣失業對策委員會ハ都道府縣(沖繩縣ヲ除ク)毎ニ之ヲ置キ都道府縣ノ名ヲ冠ス

第三條 失業對策委員會ハ會長及委員ヲ以テ組織ス

第四條 中央失業對策委員會ノ會長ハ厚生大臣ノ奏請

ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ジ都道府縣失業對策委員會ノ會長ハ地方長官之ヲ命ジ又ハ地方長官自ら會長ト爲ル

第五條 中央失業對策委員會ノ委員ハ三十人以内トシ都道府縣失業對策委員會ノ委員ハ二十人以内トス前項定員ノ外必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第六條 委員及臨時委員ハ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ中央失業對策委員會ニ在リテハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ジ都道府縣失業對策委員會ニ在リテハ地方長官之ヲ命ズ

第七條 委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

第八條 會長ハ會務ヲ總理ス  
會長事故アルトキハ會長ノ指名スル委員會長ノ職務ヲ代理ス

第九條 失業對策委員會ニ幹事ヲ置ク  
中央失業對策委員會ノ幹事ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ジ都道府縣失業對策委員會ノ幹事ハ地方長官之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス  
第十條 失業對策委員會ニ書記ヲ置ク  
中央失業對策委員會ノ書記ハ厚生大臣、都道府縣失業對策委員會ノ書記ハ地方長官之ヲ命ズ  
書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

職業紹介委員會官制中左ノ通改正ス

第一條第四項ヲ削ル

第五條第一項中「四十人」ヲ「二十人」ニ改ム  
第六條第二項中「厚生大臣」ヲ「地方長官」ニ改ム

### 生活困窮者の緊急生活援護

終戦後の社會情勢の急變に伴ひ、國民中生活困難に陥る者が益々増加し、之が至急援護の必要が認められたので、政府は昭和二十年十二月十五日生活困窮者緊急生活援護要綱を左の如く決定した。右に付き厚生省當局は各地方の實情に即し、速急具體的計畫を樹立せしむるため十二月十九日附を以て各地方長官宛別記の通牒を發した。

### 生活困窮者緊急生活援護要綱

(二〇・二・一五)  
閣議決定

終戦後ノ國內現狀ニ鑑ミ特ニ生活ニ困窮セル者ニ對シ左記要領ニ依リ緊急生活援護ノ方途ヲ講ジ以テ當面セル生活困窮ノ状態ヲ匡救セントス

#### 記

- 1、生活援護ノ對象ト爲スベキ者ハ一般國內生活困窮者及左ニ掲グル者ニシテ著シク生活ニ困窮セルモノトス
  - 2、失業者
  - 3、戰災者
  - 4、海外引揚者
  - 5、傷痍軍人及其ノ家族並ニ軍人ノ遺族
- 二、生活援護ハ援護ヲ要スル者ノ世帯ノ實情ニ應ジ左ノ方法ニ依ルモノトス